

平成28年度 都城市立丸野小学校 学校運営協議会委員評価書

学校経営ビジョン	「気付き、考え、行動する子ども」を育成するため、声をかけ合い助け合い、協力し合う教職員で、児童一人一人のよさや可能性を精一杯伸ばせるよう、最大限の知恵を絞る。 「認め・褒め・支えて、鍛える」中で、心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成と、地域に信頼される学校づくりを目指す。							
学校の教育目標	心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成							
めざす児童像	お 思いやりのある子ども      か 考える子ども      け 元気な子ども							
重点目標 (経営ビジョン)	1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上 3 体力の向上と安全意識の向上				2 豊かな人間性の育成 4 特色ある教育の推進と地域に信頼される学校づくりの推進		※ 評価の基準 4…期待以上    3…ほぼ期待通り    2…やや期待を下回る    1…改善を要する	
評価項目 (重点目標)	手段・ゴールイメージ	自己評価の結果 (4段階)			学校の自己評価 (成果と課題)	学校運営協議会委員の評価		改善策
		職員	保護者	児童		評価	意見等	
1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上	1 「もっと楽しくもっと分かりやすい授業」を創造する(授業の工夫改善・基礎基本の徹底・言語環境の整備)	3.3	3.2	3.6	・板書や発問など授業の工夫を行い、基礎基本の定着を図るよう心がけ、日々の授業実践を行った。	3.4	・家庭学習の手引きの活用が十分に生かされていないとありましたが、家庭環境も影響しているのではないかと。 ・授業においては、先生方が、児童の意欲を引き出す発問をしており、一方通行の授業がなかった。 ・校内の掲示がとても工夫されていた。	・家庭用に手引きの掲示プリントを配布し更なる活用を推進する。  ・本年度の主題研で課題として、明らかになった事項等をしっかり押さえながら、次年度も、「もっと楽しくもっと分かりやすい授業」を追究すべく、研究を推進する。
	2 主題研究で「授業づくり」について研修を深め、教師の指導力向上を目指す	3.3	3.4	3.7	・学習内容の理解を図るための授業づくりを行った。授業者の授業づくりの意識が変わり、日々の授業実践に取り組むことができた。	3.8		
	3 家庭学習のさらなる充実と工夫、習慣化を図る	3.1	3.3	3.4	・家庭学習の状況は、個人差が大きい。 ・家庭学習の手引きの啓発の必要があり、十分な活用に至っていない。	3.1		
2 生徒指導の徹底をととした、豊かな人間性の育成	1 基本的な生活習慣を定着させ、きまりや約束を守る態度を育成する	3.0	3.3	3.2	・毎朝、リレー方式によるあいさつ運動を行った。 ・廊下歩行やチャイム黙想の徹底は、まだ十分とは言えないので、継続指導を実施していく。 ・歩いての登校を今後とも推進していく。	3.5	・多くの体験活動を通し、豊かな心に育つ指導がなされていることは、将来、生きていく為に非常に大切な教育で素晴らしい。 ・くれよん号の活用は、図られているのか。また、今後更に、読み声や読書活動の推進してほしい。保護者を含めて、読書に向かう手立てをとる必要があるのではないかと。 ・アンケートや教育相談等の取組は、とても良いと思う。 ・ノーメディア・ゲームをしない日など、更に啓発を勧めて欲しい。	・11月だけのボランティア活動(落ち葉拾い)だけでなく、1年間を通して、自主的な活動となるように啓発していく。  ・家庭と連携を図りながら、生活のノート等を効果的に活用し、週末読書を推進していく。  ・ノーメディアデーに関する取組を、本年度に引き続き、継続する。
	2 各種体験活動をととして、自主性や自立、協調性を培う	2.9	3.4	3.5	・11月に全校で朝のボランティア活動(落ち葉拾い)を行った。1年間を通して、自主的活動となるように啓発していく。	3.8		
	3 生徒指導の三機能を生かした、積極的な学級経営を行う(自己肯定感の育成、自己決定の場の自主的行動の習慣化)	3.1	3.6	3.2	・毎月、すこやかアンケートを実施し、児童の実態把握に努め、適切に対応することができた。	3.8		
	4 読み聞かせや読書活動の日常化を図る	2.4	2.4	2.9	・読書に関する取組に関して、個人差が大きい。 ・学校では、読書の時間が設定されていることにより、読書に取り組む姿が見られる。しかし、家庭で読書に親しむ習慣が定着していない。	2.8		
3 健康安全教育の徹底をととした、体力の向上と安全意識の向上	1 「自分の命は自分で守る」態度と能力を育成する(危険予知能力、回避能力の育成)	2.8	3.6	3.6	・年4回の避難訓練(火山、不審者、地震、火災)を実施した。来年以降は、風水害に対応した訓練も計画する。	3.3	・いろいろな考え方はあると思うが、保育園等でも実施している状況から考えても、小学校でもフッ化物洗口の取組を推進して欲しい。 ・学校の避難訓練の様子を知るために、是非、委員にも実施の案内をして欲しい。また、オブザーバーとして、参加させて欲しい。 ・命を守るために、今後とも児童の危険回避能力を育てて欲しい。 ・徒歩での登下校を啓発して、鍛えてほしい。	・う歯治療率80%をめざす。学校だけでなく、地域の方々にも協力を呼びかける。  ・来年度、火山のための避難訓練を、風水害に対応した訓練(保護者にも協力をいただき児童引き取り)を計画する。  ・徒歩での登下校の啓発を、体力向上と生徒指導で連携して行う。登校班長会を学期1回実施し、児童の意識を高める。
	2 個に応じた、体力向上プランに基づく取組(業間の工夫、運動の日常化)	2.9	3.3	3.7	・2学期に体力向上プランを提示し、体力向上に向けた計画を示し、教員間で共有できるようにする。	3.4		
	3 家庭と連携しながら食育の推進(早寝・早起き・朝ご飯の習慣化、「弁当の日」の取組の充実)	3.0	3.3	3.5	・「弁当の日」に関しては、段階的に家庭に取組を示したため、無理なく取り組むことができた。	3.3		
	4 う歯治療率のさらなる向上	3.0	3.2	3.3	・保健室前に視覚的に治療率が分かるような掲示をしたり、治療率の状況を放送で児童に知らせたりして、意識付けをすることができた。	3.8		
4 特色のある教育の推進をととした、地域に信頼される学校づくりの推進	1 丸野小学校運営協議会の一層の活用と地域と共にある学校づくりの推進				・本年度初めて試みて、志和池地区合同の学校運営協議会を実施し、各校の取組等の情報を交換することができた。 ・学校運営協議会委員の評価や意見を、次年度以降の教育課程により反映するために、評価システムを再構築した。	3.8	・毎月、新聞を地域の各家庭に配布されている事で、地域にも学校の情報は適度に伝わっている。 ・ホームページ等の活用を更に図って欲しい。 ・大学生や保護者などの協力で、学習面での支援が出来ればと思います。	・ホームページを、各学年部・校務分掌毎に、月に2回以上、学校の様子等を発信するために、更新する。
	2 地域の素材・人材・施設活用の工夫	3.4	3.4	3.6	・地域の方々にご協力いただきながら、多くの学習活動(ふれあい活動・地域の伝統行事等の話等)実施することができた。	3.9		
	3 学校便りの発行をととし、学校・児童のよさや活躍の様子の家庭・地域への発信	3.5	3.4		・地域にある全戸向けに、学校だよりを月に1回配付し、学校や児童の様子を積極的に発信した。また、ホームページをリニューアルした。	3.9		
	4 関係機関、各地域役員との積極的交流の推進	3.4	3.3		・職員で分担して、地域の行事や志和池地区まちづくり協議会等に積極的に参加し、地域と連携を図った。	3.8		

